

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000124	農政事務管理事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成18年度			担当部名	農林商工部		
基本理念	41	農林水産業の振興				担当課	農林管理課		
基本方針	01	生産基盤・施設の整備により生産力を高める				新規継続区分	継続事業		
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業		
施策						自由区分3	棚卸し未実施		
根拠法令	なし								
構成予算事業		会計		款		項		目	
220103	農政事務管理事業	01	一般会計	06	農林業費	01	農業費	02	農業総務費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法		直接実施							
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
実施方法		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		農区長会の開催、農政事務の総括的な運営を行い、農林施策の周知を図る。							
対象 (誰・何を対象に)		農区長他							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		報酬(15千円) ・指定管理者選定委員会委員報酬 農林商工部会賃金(1,046千円) ・臨時職員賃金 旅費(普通旅費)(289千円) ・研修会、協議打ち合わせ等 需用費(2,135千円) ・消耗品費 1,233千円 燃料費 545千円 食糧費 25千円 印刷製本費 38千円 修繕料 294千円 役務費(504千円) ・保険料 95千円 通信運搬費 331千円 手数料 63千円 筆耕翻訳料 15千円 委託料(322千円) ・農区長会会場設営業務 256千円 音響業務 66千円							
関連事業 (同一目的事業等)									

事業計画額	コスト	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		使用料及び賃借料	千円	2,449	2,359	1,251	0
		需用費	千円	2,655	2,134	1,268	1,219
		賃金	千円	0	1,046	0	0
		役務費	千円	658	504	372	308
		委託料	千円	550	322	480	409
		旅費	千円	140	289	234	0
		報酬	千円	0	15	10	0
		公課費	千円	31	14	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	65	0	0	2,495
		小計	千円	6,548	6,683	3,615	4,431
B	人件費	千円	1,920	1,920	1,819	1,819	
総事業費(A+B)		千円	8,468	8,603	5,434	6,250	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	182	161	187	604	
地方債・その他特財 コメント							
一般財源		千円	8,286	8,442	5,247	5,646	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000124 農政事務管理事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	農区長会の開催	目標	回	1	1	1	1
		実績			1	1	1
		単位コスト			6683.000	3615.000	4431.000
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	参加農区長数	目標	人	248	248	248	248
実績				218	218	211	
目標							
実績							
目標							
	実績						

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		市が実施する農林行政をスムーズに進める役割から市が取り組む必要性は高い。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		農区長を一堂に集めて農林業施策を説明を行うことで、農区長の事業制度の理解が進むとともに、各農区長から農業者に対して同レベルの事業説明が可能になることから、有効性は高い。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		農区長を一堂に集めて農林業施策を説明することから、統一的な説明が出来ると共に、質疑などに対応することで、スムーズな農政事務の執行が図れる。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 本市の農林行政について、行政と地域のパイプ役である農区長に一堂に会していただいて説明する場であり、この後も継続する必要がある。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業		000125 農村研修集会施設等管理事業									
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成25年度			担当部名	農林商工部				
基本理念	41	農林水産業の振興				担当課	農林管理課				
基本方針	01	生産基盤・施設の整備により生産力を高める				新規継続区分	継続事業				
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業				
施策						自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	なし										
構成予算事業			会計	款	項	目					
220168	農村研修集会施設等管理事業		01	一般会計	06	農業費	01	農業費	02	農業総務費	
実施方法	国庫補助事業 府補助事業 市単独事業										
	直接実施										
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)										
	補助金 (補助先:)										
事務事業の意図	(どのような状態にしたいか) 市有農村研修集会施設の機械設備等の保守を行うことにより、施設の適正な維持管理を行う。										
対象	(誰・何を対象に) 対象施設の利用者										
事業内容	(手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください) 施設修繕、法定点検等を実施する。[指定管理施設除く31施設] 需用費(1,598千円) ・燃料費(28千円)、光熱水費(1,160千円)、施設修繕(410千円) 役務費(348千円) ・通信運搬費(103千円)、手数料(59千円)、保険料(建物総合損害共済共済基金分担金)(186千円) 委託料(4,965千円) ・福知山市山村基幹集落センター維持業務、自家用電気発電機保守点検、消防施設点検、空調設備点検ほか										
関連事業	農村研修集会施設修繕事業 (同一目的事業等)										
事業計画額	コスト	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度					
		委託料	千円	5,006	4,965	5,065	5,150				
		需用費	千円	1,609	1,598	2,129	2,044				
		役務費	千円	453	348	437	453				
		報酬	千円	0	0	0	0				
		給料	千円	0	0	0	0				
		職員手当等	千円	0	0	0	0				
		共済費	千円	0	0	0	0				
		災害補償費	千円	0	0	0	0				
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0				
		その他	千円	173	0	0	0				
		小計	千円	7,241	6,911	7,631	7,647				
		B 人件費	千円	1,134	1,134	1,245	1,341				
		総事業費(A+B)	千円	8,375	8,045	8,876	8,988				
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0					
	府支出金	千円	0	0	0	0					
	国・府支出金コメント										
	地方債	千円	0	0	0	0					
	その他特財	千円	467	381	522	918					
地方債・その他特財コメント											
一般財源	千円	7,908	7,664	8,354	8,070						

計画事業評価表

計画事業		000125 農村研修集会施設等管理事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	管理施設数	目標	個所	31	31	31	32
		実績			31	31	32
		単位コスト	円		222.935	246.161	238.969
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
施設利用者数	目標	人	36500	36,500	36,500	36,500	
	実績					41,967	
	目標						
	実績						
	目標						
実績							

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		農水省補助金により建設した研修集会施設(28施設)は、地域のコミュニティ活動等の拠点施設として活用されており、適切な維持管理を行うために市が取り組む必要性は高い。平成26年度から、農林という行政目的を持った施設から、さらに多用途に活用ができる普通財産へ移行し、各施設を地元自治会等が利用している。今後、福知山市公共施設マネジメント計画に基づき、施設を地元自治会等へ譲渡(無償)する。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		地域住民が主体的に行う活動の拠点施設として、地域の活性化、都市農村交流等への役割を果たしている。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		建設後、25年以上経過した施設が全体の半数以上を占め、小中規模の修繕が多く発生している。この対応には有効な財源が見込めず、今後さらに増えていくことが予想される。今後、福知山市公共施設マネジメント計画に基づき、施設を地元自治会等へ譲渡(無償)することにより、地元自治会等により施設の更なる有効活用が図れる。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 当面、行政財産から普通財産へ所管替をし無償で貸付けることとするが、最終的には、福知山市公共施設マネジメント計画に基づき、農村研修集会施設を地元自治会等へ譲渡(無償)する。無償譲渡にあたっては、各施設とも一定の改修・修繕が必要となる。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性					

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000132	府営基幹農道整備事業（大江南域地区）								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成7年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	41	農林水産業の振興				担当課	農林管理課			
基本方針	01	生産基盤・施設の整備により生産力を高める				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
210111	府営基幹農道整備事業（大江南域地区）		01	一般会計	06	農業費	01	農業費	05	農地費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			（委託先又は指定管理者：）							
補助金			（補助先：）							
事務事業の意図 （どのような状態にしたいか）			農林業の生産・流通基盤の充実を図るとともに、新たな産地づくりや担い手の確保、定住化等、魅力ある農林業の確立をめざす。							
対象 （誰・何を対象に）			京都府、地元推進委員会							
事業内容 （手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください）			大江全域を受益とし、主要農産物の集出荷の省力化と運搬経路の効率化を図り、農業経営の近代化と生活環境改善を目的に実施される府営事業であり、事業費の17.5%(事務費分25%)を負担する。 府営事業の市負担金（負担金補助及び交付金）（9,975千円） 京都府事業費 57,000千円							
関連事業 （同一目的事業等）										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	負担金補助及び交付金	千円	30,275	9,975	6,965	52,500
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	30,275	9,975	6,965	52,500
B	人件費	千円	175	175	479	1,436
	総事業費(A+B)	千円	30,450	10,150	7,444	53,936
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金コメント					
	地方債	千円	30,200	9,900	6,900	52,500
	その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財コメント					
	一般財源	千円	250	250	544	1,436

計画事業評価表

計画事業		000132 府営基幹農道整備事業（大江南域地区）						
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	活動実績	道路供用延長 (累計) 北工 区	目標	m	840	840	840	840
			実績			840	840	840
			単位コスト				8.292	62.500
			目標					
			実績					
			単位コスト					
			目標					
			実績					
			単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度		
成果実績	事業進捗率 (事業費ベース)	目標	%		85	81	80	
		実績			83	80	79	
			目標					
			実績					
			目標					
			実績					

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		府営事業であり、事業主体である京都府と地元推進組織との調整や用地買収等の調整、市負担金の支出等を実施しており、整備後の道路の果たす役割から市の関与等必要性が高い。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		本路線は、大江地域の農業生産活動の向上や出水時の緊急避難道路としての役割を担う。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		府営事業であることから、市の関与の効率性に改善の余地はない。また、市負担金については起債を活用している。			
コストと成果の方向性		事業の評価 （今後の事業の方向性、課題等）			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 早期完成、全線供用に向けて必要な負担金を支出する。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000133 福知山市土地改良区活動支援事業									
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	41	農林水産業の振興				担当課	農林管理課			
基本方針	01	生産基盤・施設の整備により生産力を高める				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
210116	福知山市土地改良区活動支援事業		01	一般会計	06	農林業費	01	農業費	05 農地費	
事業基本情報	実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
	直接実施									
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)									
	補助金 (補助先: 福知山市土地改良区)									
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		本市の農業農村整備事業の推進主体である「福知山市土地改良区」の運営を支援することにより、土地改良施設の機能維持や農道整備等を推進する。 また、過年度の土地改良資金借入金の早期償還を図る。								
対象 (誰・何を対象に)		福知山市土地改良区								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		ほ場整備を基幹事業とし、農地や農業用施設の整備を実施する農業農村整備事業は公益性が高く、その事業主体である「福知山市土地改良区」は旧市域を事業区域として、土地改良法に基づき設立された公益法人である。 現在、ほ場整備率は98%を超え、所期の目的を概ね達成したことにより、平成27年度の「解散」に向けて土地改良区の運営に対する支援と保有財産を市に引継ぐための諸事務に従事する職員の設置に対して支援を行う。 補助金(負担金補助及び交付金)(12,048千円) ・職員設置補助金 2,500千円 改良区事業補助金 9,548千円								
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	負担金補助及び交付金	千円	0	12,048	33,108	20,681
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	A 災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	0	12,048	33,108	20,681
B	人件費	千円	0	349	575	479
	総事業費(A+B)	千円	0	12,397	33,683	21,160
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財コメント					
	一般財源	千円	0	12,397	33,683	21,160

計画事業評価表

計画事業		000133 福知山市土地改良区活動支援事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	補助金(償還金額)	目標	千円	0	10000	22,000	12,718
		実績			9548	30,608	14,760
		単位コスト			1.262		
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果実績	目標					
		実績					
目標							
実績							
目標							
実績							

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		「過年度土地改良事業補助」は、過去に福知山市土地改良区が実施した「ほ場整備」をはじめとする事業に対する市補助金分を土地改良区名義で公庫資金から借り入れたもので、後年に補助金として償還している。「土地改良区職員設置」は、保有する財産を市へ引き継ぐための諸事務に対して支援を行うもので、市が取り組む必要は高い。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		土地改良区の解散事務のスケジュールに基づく義務的経費であり、有効性は高い。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		事業の性格上、財源の活用・コスト・活動量に改善の余地はない。 また、当事者である福知山市土地改良区においても保有する基金を取り崩して解散に係る諸事務に充当しており、適切に費用負担がされている。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		D 縮小・廃止(実施期間の終了または休廃止の検討が必要) 福知山市土地改良区の解散に向けた事務事業であり、平成27年度をもって廃止した。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×			×
	縮小	×		×	×
	休廃止	○	×	×	×
	皆減		縮小	維持	拡大
	コスト投入の方向性				

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000134	水土里ネット京都活動支援事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成18年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	41	農林水産業の振興				担当課	農林管理課			
基本方針	01	生産基盤・施設の整備により生産力を高める				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計	款	項	目				
210119	水土里ネット京都活動支援事業		01	一般会計	06	農林業費	01	農業費	05	農地費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法			直接実施							
実施方法			業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
実施方法			補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			農業農村整備事業を行う府内の市町村と土地改良区が設立した京都府土地改良事業団体連合会への賦課金であり、当連合会が会員である市町村への技術的援助などを実施する。							
対象 (誰・何を対象に)			京都府土地改良事業団体連合会							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			負担金(負担金補助及び交付金)(658千円) 一般賦課金及び特別賦課金(前年度に実施した農業農村整備事業費に対して賦課) 1 一般賦課金 159千円(会員割:市町村1会員当たり 10千円及び149千円(面積割:田 2,890ha、畑 788ha)) 2 特別賦課金 499千円							
関連事業 (同一目的事業等)										

事業計画額	コスト	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		負担金補助及び交付金	千円	1,110	658	643	436
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		賃金	千円	0	0	0	0
		報償費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		小計	千円	1,110	658	643	436
		B	人件費	千円	698	698	670
総事業費(A+B)	千円	1,808	1,356	1,313	819		
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
地方債・その他特財 コメント							
一般財源	千円	1,808	1,356	1,313	819		

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000134 水土里ネット京都活動支援事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	賦課金の納付	目標	千円	1110	1,113	1,029	1,071
		実績			658	643	1,098
		単位コスト			1.000	1.000	
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	千円	600	490	565	454
		実績			493	494	454
		単位コスト					
	京都府土地改良事業団体連合会から福知山支	目標	千円				
		実績					
単位コスト							
成果実績	目標	千円					
	実績						
	単位コスト						

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		京都府土地改良事業団体連合会の定款に基づく義務的経費であり、必要性は高い。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		納付した賦課金の一部が府土連福知山支部へ交付される仕組みとなっており、この交付金をもって市職員や土地改良区役職員の研修等の経費に充てており、有効性は高い。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		賦課金という性格上、財源の活用やコスト削減に改善の余地はない。ただし、今後に市が取り組む農業農村整備事業が減少していくことから、この事業費に対して賦課される特別賦課金は減少していくと予測している。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 賦課金という義務的経費を支出するものであり、本市が京都府土地改良事業団体連合会の会員である間は継続する事務事業である。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
休廃止	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
コスト投入の方向性		皆減	縮小	維持	拡大

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000135	上夜久野トンネル湧水対策施設管理事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	41	農林水産業の振興				担当課	農林管理課			
基本方針	01	生産基盤・施設の整備により生産力を高める				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
210140	上夜久野トンネル湧水対策施設管理事業	01	一般会計	06	農林業費	01	農業費	05	農地費	
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
実施方法		直接実施								
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)								
実施方法		補助金 (補助先:)								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		昭和60年に山陰本線上夜久野トンネル掘削に伴うトンネル上部の農地に対する湧水対策として設置された用水施設(イカイ揚水機:揚水池、ポンプ)の維持管理を行うことで農業用水を確保し、耕作地の保全と営農継続を目的とする。								
対象 (誰・何を対象に)		揚水ポンプ利用の受益者								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		J R西日本との覚書に基づき、市で揚水池、揚水ポンプの維持管理を行う。 需用費(120千円) ・光熱水費(揚水施設電気代)								
関連事業 (同一目的事業等)										

コスト	A	需用費	千円	平成28年度	125	平成27年度	120	平成26年度	121	平成25年度	251
		報酬	千円	0	0	0	0				
		給料	千円	0	0	0	0				
		職員手当等	千円	0	0	0	0				
		共済費	千円	0	0	0	0				
		災害補償費	千円	0	0	0	0				
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0				
		賃金	千円	0	0	0	0				
		報償費	千円	0	0	0	0				
		その他	千円	0	0	0	0				
小計	千円	125	120	121	251						
B	人件費	千円	175	175	96	96					
総事業費(A+B)		千円	300	295	217	347					
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0					
	府支出金	千円	0	0	0	0					
	国・府支出金 コメント										
	地方債	千円	0	0	0	0					
	その他特財	千円	0	0	0	0					
地方債・その他特財 コメント											
一般財源		千円	300	295	217	347					

計画事業評価表

計画事業		000135 上夜久野トンネル湧水対策施設管理事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	施設の維持管理	目標	箇所	1	1	1	1
		実績			1	1	1
		単位コスト			120.000	121.000	251.000
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	揚水ポンプ運転	目標	箇所	1	1	1	1
実績				1	1	1	
目標							
実績							
目標							
実績							

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		昭和60年に山陰本線上夜久野トンネル掘削に伴うトンネル上部の農地に対する湧水対策として設置された用水施設(イカイ揚水機:揚水池、ポンプ)の維持管理について、JR西日本との覚書に基づいて実施する事業(義務的経費)であり、本揚水機により農業用水を確保して耕作を行っていることから必要性は高い。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		揚水機により農業用水を確保することで耕作が可能になることから、事業の有効性は高い。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		施設の老朽化が進んでいるが、地元受益者が維持管理を行い延命化に取り組んでいる。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 覚書に基づき事業実施を継続していく必要があるが、設置後31年が経過し、施設の老朽化も進んできていることから、今後の維持管理面が課題となる。 耕作者、耕作地が減少してきた段階で、今後の施設の継続等を検討する必要がある。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
休廃止	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
コスト投入の方向性		皆減	縮小	維持	拡大

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000154	府営ため池等整備事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成21年度	担当部名	農林商工部					
基本理念	41	農林水産業の振興			担当課	農林管理課				
基本方針	01	生産基盤・施設の整備により生産力を高める			新規継続区分	継続事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計	款	項	目				
210114	府営ため池整備事業		01	一般会計	06	農林業費	01	農業費	05	農地費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法			直接実施							
実施方法			業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
実施方法			補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			農林業の生産・流通基盤の充実を図るとともに、新たな産地づくりや担い手の確保、定住化等、魅力ある農林業の確立をめざす。							
対象 (誰・何を対象に)			対象施設管理者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			H27年度は底樋、洪水吐、斜樋ゲートならびに水管理施設の改修・更新の必要な「豊富用水池」について、府営事業により実施するための負担金を支出する。 ・負担金 1,100千円							
関連事業 (同一目的事業等)			ため池等農地災害危機管理対策事業							

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	負担金補助及び交付金	千円	14,200	1,100	800	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		賃金	千円	0	0	0	0
		報償費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	14,200	1,100	800	0	
	B	人件費	千円	87	87	192	383
	総事業費(A+B)	千円	14,287	1,187	992	383	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	12,700	900	700	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	1,587	287	292	383	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000154 府営ため池等整備事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	ため池数	目標	箇所	188	188	188	189
		実績		188	188	189	
		単位コスト				4.255	0.000
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	ため池整備箇所数	目標	箇所	1	1	1	1
実績		1		1	1		
目標							
実績							
目標							
実績							

事項		担当課評価																																				
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		福知山市のため池は188か所あり、危険なため池への改修要望は高く、安心・安全の確保のためにも事業を実施していく必要がある。																																				
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		危険なため池の改修は、農業者の水利確保だけでなく、消防水利の拠点施設にもなり地域全体で守るべき施設であるため、有効性は高い。																																				
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		国庫補助、府補助の有利な財源確保をしており、効率性は高い。																																				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																				
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 平成26年度～29年度に実施する。ただし、府営事業の工事の進捗、内容の変更及び国の予算配分により実施期間が延びる可能性がある。			
成果の方向性	拡充		×																																			
	維持		×		○	×																																
	縮小		×		×	×																																
	休廃止		×	×	×																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
コスト投入の方向性																																						

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000156	ため池等農地災害危機管理対策事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成22年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	41	農林水産業の振興				担当課	農林管理課			
基本方針	01	生産基盤・施設の整備により生産力を高める				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計	款	項	目				
210169	ため池等農地災害危機管理対策事業	01	一般会計	06	農林業費	01	農業費	05	農地費	
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
実施方法		直接実施								
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)								
実施方法		補助金 (補助先:)								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		市内188箇所のため池のうち、老朽化が著しい池の改修を行うことにより、農業用水の安定供給と地域の安心・安全を確保する。								
対象 (誰・何を対象に)		地元ため池管理者								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		H27年度は袋池について計画策定を行った。 27年度事業：袋池計画策定等 3,704千円								
関連事業 (同一目的事業等)		府営ため池等整備事業								

コスト	A	委託料	千円	平成28年度	3,500	平成27年度	3,704	平成26年度	0	平成25年度	0
		報酬	千円	0	0	0	0				
		給料	千円	0	0	0	0				
		職員手当等	千円	0	0	0	0				
		共済費	千円	0	0	0	0				
		災害補償費	千円	0	0	0	0				
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0				
		賃金	千円	0	0	0	0				
		報償費	千円	0	0	0	0				
		その他	千円	0	0	0	23,750				
小計	千円	3,500	3,704	0	23,750						
B	人件費	千円	960	960	670	2,777					
総事業費(A+B)		千円	4,460	4,664	670	26,527					
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	17,622					
	府支出金	千円	1,250	2,749	0	0					
	国・府支出金 コメント										
	地方債	千円	0	0	0	2,900					
	その他特財 コメント	千円	0	0	0	1,100					
一般財源	千円	3,210	1,915	670	4,905						

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000156	ため池等農地災害危機管理対策事業				
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	ため池数	目標	箇所	188	188	188	188
		実績			188	188	188
		単位コスト			19.702	0.000	126.330
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	箇所	1	1	1	2
		実績			1	0	2
		単位コスト					
	ため池整備箇所数	目標	箇所				
		実績					
単位コスト							
成果実績	目標						
	実績						
	単位コスト						

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		福知山市のため池は188か所あり、危険なため池への改修要望は高く、安心・安全の確保のためにも事業を実施していく必要がある。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		危険なため池の改修は、農業者の水利確保だけでなく、消防水利の拠点施設にもなり地域全体で守るべき施設であるため、有効性は高い。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		国庫補助、府補助を財源とし有利な財源確保をしており、効率性は高い。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 地域の安全安心を確保するためにも計画に基づき段階的に改修を行う必要がある。改修を必要としないが、防災重点ため池と位置づけられているため池においては、ハザードマップを作成し、地元のため池の危険性及び避難等に活用をしてもらうよう周知を行う。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性					

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000159	市単独農業基盤整備事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成25年度	担当部名	農林商工部					
基本理念	41	農林水産業の振興			担当課	農林管理課				
基本方針	01	生産基盤・施設の整備により生産力を高める			新規継続区分	継続事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計	款	項	目				
210108	市単独農業基盤整備事業		01	一般会計	06	農林業費	01	農業費	05	農地費
事業基本情報	実施方法	国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
		直接実施								
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)								
		補助金 (補助先: 農区、水利組合)								
事務事業の意図	(どのような状態にしたいか) 国・府補助を受けない農業用施設の更新や維持修繕を実施する地元受益団体に、事業費の1/2以内の補助を行い施設の機能回復と維持管理労力の節減を図り持続する農業を支える。									
対象	(誰・何を対象に) 関係農区、水利組合									
事業内容	(手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください) 負担金及び補助金(1,705千円) ・老朽化した農業用施設の改修費用の1/2を補助する。 事業実施箇所 芦刈営農組合、川合地域農場づくり協議会、観音寺農業用水第二水利組合 他									
関連事業	(同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	負担金補助及び交付金	千円	1,600	1,705	1,025	1,200
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	A 災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	1,569	0
小計	千円	1,600	1,705	2,594	1,200	
B 人件費	千円	873	873	766	575	
総事業費(A+B)	千円	2,473	2,578	3,360	1,775	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	800	0	0	0
	国・府支出金コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
地方債・その他特財コメント						
一般財源	千円	1,673	2,578	3,360	1,775	

計画事業評価表

計画事業		000159 市単独農業基盤整備事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	箇所数	目標		5	5	5	5
		実績			5	4	5
		単位コスト				648.500	240.000
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	成果実績	目標					
実績							
目標							
実績							
目標							
実績							

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		国・府補助を受けない農業用施設の更新や維持修繕を実施する地元受益団体からの要望は、多く必要性は高い。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		どの地域も過疎高齢化にさらされ、後継者不足の中、施設の更新、維持管理の費用を補助することは、地元負担の軽減となり、農業放棄を食い止める施策であり、今後とも実施していく必要があり有効性は高い。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		各施設の長寿命化を図るため、農業用施設の更新や維持修繕を行っており、効率性は高い。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		C 拡充(人員や予算規模の拡充が必要) 国・府補助を受けない農業用施設で、緊急に故障した施設などの補修は必要であり、また、福知山市土地改良区の解散に伴い、改良区が支援をしてきた補助についても考慮する必要があり、今後更に拡充し、実施していく必要がある。			
成果の方向性	拡充 <input checked="" type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>				
	維持 <input checked="" type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>				
	縮小 <input checked="" type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>				
	休廃止 <input type="checkbox"/> × <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>				
皆減 縮小 維持 拡充					
コスト投入の方向性					

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000163	土地改良施設維持管理適正化事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成19年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	41	農林水産業の振興				担当課	農林管理課			
基本方針	01	生産基盤・施設の整備により生産力を高める				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
210109	土地改良施設維持管理適正化事業		01	一般会計	06	農林業費	01	農業費	05	農地費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			(委託先又は指定管理者:)							
補助金			(補助先: 福知山市土地改良区)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			農林業の生産・流通基盤の充実を図るとともに、新たな産地づくりや担い手の確保、定住化等、魅力ある農林業の確立をめざす。							
対象 (誰・何を対象に)			対象施設管理者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			<p>農業用施設の適正な管理と長寿命化を図るため、事業加入した施設について賦課金を拠出するとともに、交付金の交付対象施設の更新を行う。</p> <p>具体的には、事業に加入後の5年間に市と地元負担金を拠出し、定められた年度に補助金交付を受け更新等工事を実施する。</p> <p>負担金補助及び交付金</p> <p>・負担金 1,688千円 補助金 700千円</p>							
関連事業 (同一目的事業等)										

事業計画額	コスト	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		負担金補助及び交付金	千円	3,321	2,388	3,339	4,800
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		賃金	千円	0	0	0	0
		報償費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	7,500	0	0	0
		小計	千円	10,821	2,388	3,339	4,800
		B	人件費	千円	960	960	1,245
総事業費(A+B)	千円	11,781	3,348	4,584	7,577		
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	9,300	1,100	1,425	1,925	
地方債・その他特財 コメント							
一般財源	千円	2,481	2,248	3,159	5,652		

計画事業評価表

計画事業		000163 土地改良施設維持管理適正化事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	事業加入施設数	目標	箇所	3	1	2	1
		実績		1	0	1	
		単位コスト		2388.000		4800.000	
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	機能更新した施設数	目標	箇所	2	1	3	2
実績		1		3	0		
目標							
実績							
目標							
実績							

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		設置、改修等から20年以上経過した施設が多く、ポンプ、水路などの施設の維持管理の要望は高く、事業を実施していく必要がある。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		本事業は、すべての施設を改修するのではなく、改修の必要な箇所だけを実施していく事業であり、施設全体の長寿命化を行うなど、経済性に優れた事業である。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		国庫補助、府補助を財源とし有利な財源確保をしており、効率性は高い。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 農業用施設について、故障、損壊する前に専門家の診断を受け、改修の必要があれば本事業に加入し、修繕や補修を行なう事業であり、各施設の長寿命化に貢献しており、これからも地元要望に基づき計画的に実施する必要がある。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
	皆減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000166	農業基盤整備促進事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成24年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	41	農林水産業の振興				担当課	農林管理課			
基本方針	01	生産基盤・施設の整備により生産力を高める				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
210155	農業基盤整備促進事業		01	一般会計	06	農林業費	01	農業費	05	農地費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			(委託先又は指定管理者:)							
補助金			(補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			農業の体質強化のため、老朽施設の更新や農作業道の変更などを行い、生産・流通基盤の充実を図るとともに、新たな産地づくりや担い手の確保、定住化等、魅力ある農林業の確立をめざす。							
対象 (誰・何を対象に)			関係農区							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			<p>農業基盤の基礎となる農道の路面改良や老朽化した揚水機を更新することで、草刈、わだち等の修正作業の労力を軽減し、作業効率の向上、荷痛み防止を行い、農作物の生産性の向上を図る。</p> <p>事業量：今安地区 道路1,340.0m、上六人部地区 道路1,998.9m、雲原地区 道路1,632.1m、三和地区 揚水機1式、道路204.0m 測量設計・施工管理業務等 259千円 工事請負費 61,981千円</p>							
関連事業 (同一目的事業等)										

コスト	A	工事請負費	千円	平成28年度	34,700	平成27年度	61,981	平成26年度	36,990	平成25年度	0
		委託料	千円	1,600	259	2,819	4,819				
		需用費	千円	100	2	48	0				
		報酬	千円	0	0	0	0				
		給料	千円	0	0	0	0				
		職員手当等	千円	0	0	0	0				
		共済費	千円	0	0	0	0				
		災害補償費	千円	0	0	0	0				
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0				
		その他	千円	100	0	200	35,784				
小計	千円	36,500	62,242	40,057	40,603						
B	人件費	千円	4,538	4,538	5,650	4,788					
総事業費(A+B)		千円	41,038	66,780	45,707	45,391					
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	23,798					
	府支出金	千円	21,180	36,601	23,265	0					
	国・府支出金コメント										
	地方債	千円	9,900	17,000	10,900	7,400					
	その他特財	千円	4,044	6,595	4,250	8,074					
地方債・その他特財コメント											
一般財源	千円	5,914	6,584	7,292	6,119						

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000166 農業基盤整備促進事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	事業実施地区数	目標	地区	4	5	4	5
		実績		5	4	5	
		単位コスト				10014.250	8120.600
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	m	3000	3000	3,000	5,000
		実績		5175	3277	954	
		単位コスト					
	農道舗装済延長	目標					
		実績					
単位コスト							
成果指標名	目標						
	実績						
	単位コスト						

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		耐用年数を過ぎた揚水ポンプの更新やほ場整備後10年以上経た地域の農道舗装の要望は大変多く、今後も実施していく必要がある。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		どの地域も過疎高齢化にさらされ、後継者不足の中、農作業の効率化、経済性を考えると今後も実施していく必要があり有効性は高い。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		国庫補助、府補助の有利な財源確保をしており、効率性は高い。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 事業計画に基づき年次計画的に事業進捗を図る必要がある。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000168	広域交通網整備促進事業（地域ふるさと農道）								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成17年度	担当部名	農林商工部					
基本理念	41	農林水産業の振興			担当課	農林管理課				
基本方針	01	生産基盤・施設の整備により生産力を高める			新規継続区分	継続事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計	款	項	目				
210112	広域交通網整備促進（地域ふるさと農道）		01	一般会計	06	農林業費	01	農業費	05	農地費
実施方法	国庫補助事業			府補助事業			市単独事業			
	直接実施									
	業務委託又は指定管理（委託先又は指定管理者：）									
	補助金（補助先：）									
事務事業の意図 （どのような状態にしたいか）	農林業の生産・流通基盤の充実を図ることによる安全の確保や交通の円滑化とともに新たな産地づくりや担い手の確保、定住化等、魅力ある農林業の確立をめざす。									
対象 （誰・何を対象に）	市民									
事業内容 （手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください）	本市を取り巻く高速交通網等に繋がる基幹的な農道整備であり、整備改修が急務であることから、年次計画に基づき整備を行う。 事業年度：平成17年度～27年度 測量・設計業務 10,021千円 工事請負費 76,075千円									
関連事業 （同一目的事業等）										

事業計画額	コスト	工事請負費	千円	平成28年度	0	平成27年度	76,075	平成26年度	98,204	平成25年度	0
		委託料	千円	0	10,021	512	241				
		報酬	千円	0	0	0	0				
		給料	千円	0	0	0	0				
		職員手当等	千円	0	0	0	0				
		共済費	千円	0	0	0	0				
		災害補償費	千円	0	0	0	0				
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0				
		賃金	千円	0	0	0	0				
		その他	千円	0	0	0	96,050				
		小計	千円	0	86,096	98,716	96,291				
		人件費	千円	0	2,618	2,202	2,681				
		総事業費(A+B)	千円	0	88,714	100,918	98,972				
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0					
	府支出金	千円	0	0	0	0					
	国・府支出金 コメント										
	地方債	千円	0	81,700	51,000	91,200					
	その他特財	千円	0	0	0	0					
地方債・その他特財 コメント											
一般財源	千円	0	7,014	49,918	7,772						

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000168 広域交通網整備促進事業（地域ふるさと農道）						
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	ふるさと農道整備率	目標	%		100	91	83	
		実績			100	91	83	
		単位コスト						
	活動実績	目標						
		実績						
		単位コスト						
	成果実績	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
			目標					
			実績					
		目標						
		実績						
		目標						
	実績							

事項		担当課評価																							
事業の妥当性・必要性 <small>（市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から）</small>		「ゆずりトンネル」の開通、国道429号、府道福知山山南線等の整備進行により福知山西部地域から市内に流れる交通量は徐々に増加しており、緊急性は高い。																							
事業の有効性 <small>（上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から）</small>		市街地への乗り入れがスムーズになり文化資産、観光施設の利活用も活発化し経済効果が期待できる。																							
事業の効率性 <small>（有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から）</small>		合併特例債を活用しており、有利な財源確保ができています。また、盛土には他事業からの土砂を受け入れて事業費のコスト削減を図っている。																							
コストと成果の方向性		事業の評価 （今後の事業の方向性、課題等）																							
事務事業の方向性の組み合わせ		D 縮小・廃止(実施期間の終了または休廃止の検討が必要) 平成27年度で全線開通し、事業完了。																							
成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>	拡充	×				維持	×			×	縮小	×		×	×	休廃止	○	×	×	×				
	拡充	×																							
	維持	×			×																				
縮小	×		×	×																					
休廃止	○	×	×	×																					
<table border="1"> <tr> <td>○皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> </table>	○皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性																				
○皆減	縮小	維持	拡大																						

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000174	農業施設維持修繕事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成25年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	41	農林水産業の振興				担当課	農林管理課			
基本方針	01	生産基盤・施設の整備により生産力を高める				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
210117	農業施設維持修繕事業	01	一般会計	06	農林業費	01	農業費	05	農地費	
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
実施方法		直接実施								
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)								
実施方法		補助金 (補助先:)								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		農業施設全般において、小規模で緊急または公共性のあるものについて維持修繕を行う。								
対象 (誰・何を対象に)		関係農区								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		舗装されていない農道の維持修繕にあたり、碎石等の配布を行う。 緊急的に維持修繕の必要な施設について工事を実施する。 需用費(803千円) ・消耗品費 541千円 修繕料 262千円								
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	需用費	千円	950	803	1,203	825
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	950	803	1,203	825
B	人件費	千円	436	436	192	383
	総事業費(A+B)	千円	1,386	1,239	1,395	1,208
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,386	1,239	1,395	1,208

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000174 農業施設維持修繕事業						
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	活動実績	資材配布箇所	目標	箇所	17	17	17	17
			実績			14	25	17
			単位コスト			57.357	48.120	48.529
			目標					
			実績					
			単位コスト					
			目標					
			実績					
			単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	成果実績	修繕の実施	目標	箇所	2	2	2	2
実績					3	1	2	
			目標					
			実績					
			目標					
			実績					

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		各地域で積極的に維持管理している農道や各農業用施設への地元要望は高く今後とも必要性は高い。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		どの地域も過疎高齢化にさらされ、後継者不足の中、農道の維持管理への砕石支給は、地元負担の軽減となり、農業放棄を食い止める施策であり、今後とも実施していく必要があり有効性は高い。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		農道や各施設の長寿命化を図るため、地元の出役により維持修繕を行っており、効率性は高い。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 各地域が維持管理をしている未舗装の農道で、わだちができたところは通行性が悪く、作業効率も悪くなるため、補修は必要であり、今後とも実施していく必要がある。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000176	農業用施設等台帳整備事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成25年度	担当部名	農林商工部					
基本理念	41	農林水産業の振興			担当課	農林管理課				
基本方針	01	生産基盤・施設の整備により生産力を高める			新規継続区分	継続事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計	款	項	目				
210113	農業用施設等台帳整備事業		01	一般会計	06	農林業費	01	農業費	05	農地費
事業基本情報	実施方法	国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
		直接実施								
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: 京都府土地改良事業団体連合会)								
		補助金 (補助先:)								
事務事業の意図	(どのような状態にしたいか) 土地改良事業により造成された農道について、各地域ごと路線ごとに図面、延長、幅員等を整理し、施設管理を行う。また農道舗装事業などの一般平面図としても利用する。									
対象	(誰・何を対象に) 関係農区									
事業内容	(手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください) ほ場整備された地区で、農道台帳が作成されていない地域の台帳整備を行う。 委託料 (1,415千円) ・台帳整備業務 負担金補助及び交付金 (11千円) ・負担金 (農道台帳管理費用負担金)									
関連事業	(同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	委託料	千円	0	1,415	1,728	1,785
		負担金補助及び交付金	千円	11	11	11	11
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		賃金	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	11	1,426	1,739	1,796	
	B	人件費	千円	2,245	2,245	479	479
	総事業費(A+B)	千円	2,256	3,671	2,218	2,275	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	2,256	3,671	2,218	2,275	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000176 農業用施設等台帳整備事業				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
活動実績	整備地区	目標	0	1	1	1
		実績		1	1	1
		単位コスト		1426.000	1739.000	1796.000
		目標				
		実績				
		単位コスト				
		目標				
		実績				
		単位コスト				
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	整備延長	目標	0	3000	3,000	3,000
		実績		2821	3277	3,700
		目標				
		実績				
		目標				
		実績				

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		土地改良事業により造成された農道について、各地域ごと路線ごとに図面、延長、幅員等を整理し、施設管理を行う。また農道舗装事業などの一般平面図としても利用するため必要性は高い。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		第4次総合計画にも掲げている農道舗装の進捗を図るために、関係する地域の農道を事前に整理しており、農道台帳を整備する有効性は高い。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		農道舗装事業への利用も考え地域を選定しているため測量業務の削減にもつながり効率性は高い。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		B 改善(事業の進め方等に改善が必要) 農道舗装の進捗を図るため、関係する地域の農道を整理しており、今後も農道台帳を整備する必要があるが、農道舗装の進捗が鈍化しているため、それに併せて予算の配分をする必要がある。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x	○		x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000178 農地事務管理事業	
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度 平成25年度
担当部名	農林商工部	
基本理念	41 農林水産業の振興	担当課 農林管理課
基本方針	01 生産基盤・施設の整備により生産力を高める	新規継続区分 継続事業
施策の大綱		実施計画区分 実施計画事業
施策		自由区分3 棚卸し未実施
根拠法令	なし	
構成予算事業		
210103 農地事務管理事業	01 一般会計	06 農林業費
		01 農業費
		05 農地費
実施方法	国庫補助事業 府補助事業 市単独事業	
	直接実施	
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: 京都府土地改良事業団体連合会)	
	補助金 (補助先:)	
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	全国統一の農業土木積算システムを使用することにより、正確性と効率化が図れる。	
対象 (誰・何を対象に)	農業土木積算	
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	積算システム支援委託を京都府土地改良事業団体連合会と契約し、システムの更新を効率的に行う。 委託料(156千円) ・その他の業務委託 使用料及び賃借料(125千円) ・電子計算機等賃借料	
関連事業 (同一目的事業等)		

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	委託料	千円	170	156	151	143
	使用料及び賃借料	千円	125	125	125	0
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	125
小計	千円	295	281	276	268	
B	人件費	千円	436	436	192	287
総事業費(A+B)		千円	731	717	468	555
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
地方債・その他特財 コメント						
一般財源	千円	731	717	468	555	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000178 農地事務管理事業						
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	賃借契約機器数	目標	台	4	4	4	4	
		実績			4	4	4	
		単位コスト				69.000	67.000	
	活動実績	目標						
		実績						
		単位コスト						
	成果実績	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
		工事発注件数	目標	件	20	40	25	24
			実績			40	80	120
		目標						
		実績						
		目標						
	実績							

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		全国統一の農業土木積算システムを使用することにより、正確性と効率化が図れ、今後とも必要性は高い。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		全国統一の農業土木積算システムを使用する研修会に参加し、効率的な操作性を学ぶため、有効性は高い。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		全国統一の農業土木積算システムを使用することにより、安価な費用で更新が行えるため効率性が高い。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 積算の効率化と正確さ、迅速性を図るために今後も必要である。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性					

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000944	府営綾部用水整備事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成26年度	担当部名	農林商工部				
基本理念	41	農林水産業の振興			担当課	農林管理課			
基本方針	01	生産基盤・施設の整備により生産力を高める			新規継続区分	新規事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令									
構成予算事業			会計	款	項	目			
210142	府営綾部用水整備事業	01	一般会計	06	農林業費	01	農業費	05	農地費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		改修を必要とする水路を直すことにより、農林業の生産・流通基盤の充実を図るとともに、新たな産地づくりや担い手の確保、定住化等、魅力ある農林業の確立をめざす。							
対象 (誰・何を対象に)		対象施設管理者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		平成26年度から29年度にかけて府営事業により用水路整備を実施するため負担金を支払う。 ・H27負担金 493千円							
関連事業 (同一目的事業等)									

コスト		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	A	負担金補助及び交付金	千円	2,175	493	290	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		賃金	千円	0	0	0	0
		報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	
	小計	千円	2,175	493	290	0	
B	人件費	千円	87	87	192	0	
	総事業費(A+B)	千円	2,262	580	482	0	
財源内訳		国支出金	千円	0	0	0	0
		府支出金	千円	0	0	0	0
		国・府支出金コメント					
		地方債	千円	1,900	400	0	0
		その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	362	180	482	0	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000944 府営綾部用水整備事業				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
進捗率	目標	%	60	53	6	
	実績			16	6	
	単位コスト			48.333		
	目標					
	実績					
	単位コスト					
	目標					
	実績					
	単位コスト					
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

事項	担当課評価																																	
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	老朽化した水路を改修することにより、安定した農業用水の確保につながるため、必要性は高い。																																	
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	安定した農業用水を確保することにより、農業放棄を食い止めることとなり、今後とも実施していく必要があり、有効性は高い。																																	
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	国庫補助、府補助の有利な財源を確保しており、効率性は高い。																																	
コストと成果の方向性	事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																	
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 平成26年度から29年度にかけて実施する府営事業について負担をする。
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×		○	×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
		皆減	縮小	維持	拡大																													
コスト投入の方向性																																		

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000945	川北地区ほ場整備事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成26年度			担当部名	農林商工部		
基本理念	41	農林水産業の振興				担当課	農林管理課		
基本方針	01	生産基盤・施設の整備により生産力を高める				新規継続区分	新規事業		
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業		
施策						自由区分3	棚卸し未実施		
根拠法令									
構成予算事業			会計		款		項		目
210173	川北地区ほ場整備事業	01	一般会計	06	農林業費	01	農業費	05	農地費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		川北地区において、平坦地であるが「ほ場」が未整備であり、里道水路も狭隘で農業経営の集約化が困難な耕作条件の下、近年の豪雨災害時にも冠水被害を被り易い地形条件であるため、由良川築堤事業の実施に際し、関連する河川や市道の整備と一体的に大区画圃場整備事業を導入し、集約化が可能な生産基盤の整備と併せて経営体の育成を行い、農用地の利用集積による高度利用の条件整備を行う。							
対象 (誰・何を対象に)		国土交通省、京都府、川北地域住民							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		川北地区ほ場整備調査設計業務(委託料)(15,001千円) ・計画平面図作成、計画用水量の算出を行う。 川北地区ほ場整備換地事務委託業務(委託料)(3,769千円) ・換地の素案作成等							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	委託料	千円	0	18,770	1,145	0
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	0	18,770	1,145	0
	B 人件費	千円	1,745	1,745	1,915	0
	総事業費(A+B)	千円	1,745	20,515	3,060	0
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	10,137	0	0
	国・府支出金コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	3,566	0	0
	地方債・その他特財コメント					
	一般財源	千円	1,745	6,812	3,060	0

計画事業評価表

計画事業		000945 川北地区ほ場整備事業						
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	委員会 実施数	目標	回	20	20	10		
		実績			15	7		
		単位コスト				163.571		
	活動実績	目標						
		実績						
		単位コスト						
	成果実績	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
		事業費	目標	円	458,500	458,500	458,500	0
			実績			19,000	1,145	0
			目標					
			実績					
		目標						
	実績							

事項		担当課評価																								
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		災害対策事業である由良川築堤をはじめ、関連する河川や市道の整備に合わせ、災害に対応できる大区画ほ場整備事業整備を行う。																								
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		集約化が可能な生産基盤の整備と併せて経営体の育成を行い、農用地の利用集積による高度利用の条件整備を行う。																								
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		ほ場面積を20ha以上となるため、府営施工となる。また、担い手農地利用集約率を50%図ることにより、国や府の補助率の増加を図る。																								
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																								
事務事業の方向性の組み合わせ		C 拡充(人員や予算規模の拡充が必要) 平成29年度事業採択に向け、平成28年度に申請書の作成を行う。 平成28年度 事業採択申請 平成29年度 事業開始(府営施工)～ 平成33年度 事業終了(予定) また、担い手農地利用集約率を50%以上とするため、地元の営農組織の設立、担い手の確保が必要である。																								
成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>x</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>x</td> <td></td> <td></td> <td>x</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>x</td> <td></td> <td>x</td> <td>x</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>x</td> <td>x</td> <td>x</td> </tr> </table>	拡充	x			○	維持	x			x	縮小	x		x	x	休廃止		x	x	x					
	拡充	x			○																					
維持	x			x																						
縮小	x		x	x																						
休廃止		x	x	x																						
コスト投入の方向性		<table border="1"> <tr> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>○</td> <td>拡大</td> </tr> </table>					皆減	縮小	維持	○	拡大															
皆減	縮小	維持	○	拡大																						

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000130	里の駅みたけ産見守り弁当宅配事業（6次産業モデル事業）								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成25年度		担当部名	農林商工部				
基本理念	41	農林水産業の振興			担当課	農林管理課				
基本方針	04	1次産品のブランド化・6次産業化等により販売力を高め			新規継続区分	継続事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
220303	里の駅みたけ産見守り弁当宅配事業（6次）	01	一般会計	06	農林業費	01	農業費	02	農業総務費	
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
実施方法		直接実施								
実施方法		業務委託又は指定管理（委託先又は指定管理者：）								
実施方法		補助金（補助先：三岳高齢者活動促進施設運営委員会）								
事務事業の意図 （どのような状態にしたいか）		三岳地域の活性化と農業振興を推進するため、地域住民自らが実施する地域特産物を活用した6次産業化のためのモデル事業への取り組みを促進する。								
対象 （誰・何を対象に）		事業運営団体である「三岳高齢者活動促進施設運営委員会」、地域住民								
事業内容 （手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください）		補助金（1,580千円） 里の駅みたけ産見守り弁当宅配事業に係る 福知山市6次産業化による農山村地域の活性化のための推進モデル事業補助金								
関連事業 （同一目的事業等）										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	工事請負費	千円	0	3,748	0	0
		委託料	千円	0	1,555	0	0
		負担金補助及び交付金	千円	0	905	1,580	2,200
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	0	6,208	1,580	2,200	
	B	人件費	千円	0	698	862	958
	総事業費(A+B)	千円	0	6,906	2,442	3,158	
財源内訳		国支出金	千円	0	0	0	1,100
		府支出金	千円	0	0	790	0
		国・府支出金 コメント					
		地方債	千円	0	4,700	0	0
		その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財 コメント						
	一般財源	千円	0	2,206	1,652	2,058	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000130 里の駅みたけ産見守り弁当宅配事業（6次産業モデル事業）						
事業実績と成果	活動実績	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		弁当出荷個数	目標	個		9,800	5,200	3,200
			実績			12626	9,746	2,426
			単位コスト		円		0.492	
		目標						
			実績					
				単位コスト				
		目標						
			実績					
	単位コスト							
	成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		売上高	目標	千円		4,410	2,236	1,344
実績					7184	4,190	1,019	
目標								
		実績						
目標								
	実績							

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>（市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から）</small>		本事業は、三岳地域在住の高齢者自らが実施する活動を支援し、地域特産物を活用した6次産業化のモデルであり、市が取り組む必要性は高い。			
事業の有効性 <small>（上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から）</small>		新鮮な地場野菜や地域の特産品を活用することにより農作物生産意欲の向上と地元高齢者の雇用に大きな役割を担っている。 6次産業化及び地域の高齢者等の見守りをかねており、三岳地域の活性化に大きく寄与している。			
事業の効率性 <small>（有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から）</small>		取り組み事業に伴う小規模な店舗改修を実施する必要があるが、平成25年度から27年度までの事業補助であり、みらい戦略一括交付金及び基金からの繰り入れにより事業を実施している。			
コストと成果の方向性		事業の評価（今後の事業の方向性、課題等）			
事務事業の方向性の組み合わせ		D 縮小・廃止(実施期間の終了または休廃止の検討が必要) 平成27年度までで、施設の整備が完了した。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×			×
	縮小	×	○	×	×
	休廃止		×	×	×
コスト投入の方向性		皆減	縮小	維持	拡大

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000131	里の駅みたけ管理事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成18年度	担当部名	農林商工部				
基本理念	41	農林水産業の振興			担当課	農林管理課			
基本方針	04	1次産品のブランド化・6次産業化等により販売力を高め			新規継続区分	継続事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし								
構成予算事業			会計	款	項	目			
220311	里の駅みたけ管理事業	01	一般会計	06	農林業費	01	農業費	02	農業総務費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法		直接実施							
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: 三岳高齢者活動促進施設運営委員会)							
実施方法		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		指定管理により施設の適正な運営を図る。							
対象 (誰・何を対象に)		指定管理者である「三岳高齢者活動促進施設運営委員会」、施設利用者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		指定管理により施設を運用する。 役務費(10千円) ・保険料(建物総合損害共済共済基金分担金) 委託料(392千円) ・里の駅みたけ指定管理料(392千円)							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	委託料	千円	392	392	304	304
		役務費	千円	11	10	9	10
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		賃金	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	403	402	313	314	
	B	人件費	千円	698	698	1,149	192
	総事業費(A+B)	千円	1,101	1,100	1,462	506	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
	地方債・その他特財 コメント						
	一般財源	千円	1,101	1,100	1,462	506	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000131 里の駅みたけ管理事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	出荷登録農家数	目標	戸	60	60	40	40
		実績				57	40
		単位コスト		円			5.491
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	人	21000	21,000	21,000	21,000
		実績				18,950	20,616
		単位コスト					
	売上高	目標	千円	16000	16,000	15,500	15,500
		実績				16,622	16,013
単位コスト							
成果実績	目標						
	実績						
	単位コスト						

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		本施設は、三岳地域の高齢者が生き生きとした活動を支援する施設であり、指定管理施設として市が取り組む必要性は高い。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		新鮮な地場野菜、加工品や地域の特産品を販売することにより農作物生産意欲の向上と地元高齢者の雇用に大きな役割を担っている。 平成23年には、飲食業許可を取得し、地元産の「山のいも」を使った「とろろ丼」が好評であり、地域の活性化に大きく寄与している。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		取り組み事業の拡大等に伴う小規模な店舗改修や経年老朽化により修繕が発生してきているが、現状では有効な財源がなく今後の課題となっている。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 三岳地域の高齢化対策や更なる地産地消の推進等、新たな施策に係る施設の積極的な事業展開に対応できる財源の確保が課題である。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性					

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000146 福知山千年の森づくり事業									
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成18年度	担当部名	農林商工部					
基本理念	43	観光の振興		担当課	農林管理課					
基本方針	01	地域資源を活性化する		新規継続区分	継続事業					
施策の大綱				実施計画区分	実施計画事業					
施策				自由区分3	棚卸し未実施					
根拠法令	なし									
	構成予算事業			会計	款	項	目			
220401	福知山千年の森づくり事業		01	一般会計	06	農林業費	02	林業費	02	林業振興費
220403	自然環境整備交付金事業		01	一般会計	06	農林業費	02	林業費	02	林業振興費
220404	国定公園からの贈り物事業		01	一般会計	06	農林業費	02	林業費	02	林業振興費
実施方法	国庫補助事業		府補助事業			市単独事業				
	直接実施									
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)									
	補助金 (補助先:)									
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	「福知山千年の森づくり基本計画」に基づき、丹後天橋立大江山公園内の施設整備を進めるとともに、市民参加の森づくり運動を推進して、国定公園エリアの文化と景観の保全・継承・整備を行い、周辺集落の維持活性化を図りながら、「オンリーワン」の森林公園を目指す。									
対象 (誰・何を対象に)	市民及び福知山千年の森づくり懇話会、国定公園。									
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	旅費(27千円) 需用費(246千円) ・消耗品費 246千円 役務費(594千円) 委託料(1,354千円) ・測量設計業務 (1,350千円) ・日向水木植樹祭 バス送迎(4千円) 使用料及び賃借料(37千円) 工事請負費(8,542千円) ・大江山・三岳山地区施設整備事業費 全国棚田学会会費(負担金補助及び交付金)(30千円) ・文化的景観(毛原の棚田)の保全活動に資するための連携組織会費									
関連事業 (同一目的事業等)	福知山千年の森ふるさと基金積立事業									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	工事請負費	千円	2,790	8,542	2,931	0
	委託料	千円	152	1,354	9	7
	役務費	千円	0	594	0	0
	需用費	千円	545	246	71	147
	使用料及び賃借料	千円	97	37	0	0
	負担金補助及び交付金	千円	30	30	30	30
	旅費	千円	42	27	8	0
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	その他	千円	40	0	20	10,118
	小計	千円	3,696	10,830	3,069	10,302
	人件費	千円	3,927	3,927	2,394	4,309
	総事業費(A+B)	千円	7,623	14,757	5,463	14,611
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	4,500
	府支出金	千円	1,324	4,500	1,350	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	1,500	5,300	1,500	5,500
	その他特財	千円	872	830	59	66
	地方債・その他特財 コメント					
	一般財源	千円	3,927	4,127	2,554	4,545

計画事業評価表

計画事業		000146 福知山千年の森づくり事業				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
活動実績 国定公園エリアでの森づくり等活動数 国定公園エリアでの施設整備数	目標		6	6	6	
	実績	回	3	4	5	
	単位コスト	円	3610.000	767.250	2060.400	
	目標	基	1	5	5	
	実績		1	5	3	
	単位コスト		10830.000	613.800	3434.000	
成果実績 国定公園への来訪者数	目標					
	実績	人	257,000	257,000	257,000	
	目標					
	実績			233,000	234,000	
	目標					
	実績					

事項	担当課評価																																	
事業の妥当性・必要性 (市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)	国定公園に指定されたエリアを「福知山千年の森づくり事業エリア」と位置付け、市民と一緒に森づくりを進めるものであり、本市の自然環境保全、観光拠点となることから、市が関与する必要性は高い。																																	
事業の有効性 (上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)	国定公園を生かし、市民に対して自然環境保全、地域振興などにつなげることで、小学生などの次世代への環境教育、市民の財産である自然を保全管理していく事業であり、有効性は高い。																																	
事業の効率性 (有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)	市民ボランティアの参画、補助金、福知山千年の森づくり寄付金を財源として活用するなど、効率性が高い。																																	
コストと成果の方向性	事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																	
事務事業の方向性の組み合わせ	B 改善(事業の進め方等に改善が必要) 国定公園内の施設が、一定の整備が完了しつつある。																																	
<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>○</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="5">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×	○		×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×		皆減	縮小	維持	拡大			コスト投入の方向性					
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×	○		×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
	皆減	縮小	維持	拡大																														
	コスト投入の方向性																																	

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000148	福知山千年の森ふるさと基金積立事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成20年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	43	観光の振興				担当課	農林管理課			
基本方針	01	地域資源を活性化する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
220402	福知山千年の森ふるさと基金積立事業		01	一般会計	06	農林業費	02	林業費	02	林業振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			(委託先又は指定管理者:)							
補助金			(補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			福知山市が有する国定公園エリアの歴史的資産や自然景観などの、保全・継承・整備を願う人々の寄付金を財源とした基金を設置し運用することにより、千年の森づくりに寄与し、住民参加型のふるさとづくりに繋げていく。							
対象 (誰・何を対象に)			市民及びふるさと福知山への想いを持つ人							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			需用費(229千円) ・消耗品費 229千円(福知山千年の森ふるさと寄附記念品の購入) 役務費(15千円) ・通信運搬費 15千円(福知山千年の森ふるさと寄附記念品の郵送料) 「福知山千年の森ふるさと基金」への寄附金積立(積立金)(1,038千円) ・福知山市を愛する人々から「ふるさと納税制度」による寄附金を募り、千年の森づくりエリアを対象に、一千年先を見据え栄え続ける「オンリーワンの森林公園」づくりの事業に活用する為の基金造成。							
関連事業 (同一目的事業等)			福知山千年の森づくり事業							

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	積立金	千円	5,340	1,038	1,205	0
		需用費	千円	15	229	2	0
		役務費	千円	0	15	2	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	1,028
	小計	千円	5,355	1,282	1,209	1,028	
	B	人件費	千円	1,309	1,309	479	479
	総事業費(A+B)	千円	6,664	2,591	1,688	1,507	
財源内訳		国支出金	千円	0	0	0	0
		府支出金	千円	0	0	0	0
		国・府支出金 コメント					
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他特財	千円	5,340	1,038	1,205	1,028
	地方債・その他特財 コメント						
	一般財源	千円	1,324	1,553	483	479	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000148 福知山千年の森ふるさと基金積立事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	寄付件数	目標	件	10	10	10	10
		実績			55	24	19
		単位コスト		円		23.309	50.375
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	成果実績	寄附金収納金額	目標	円	2,000,000	2,000,000	1,000,000
実績					1,282,000	1,205,000	1,028,000
目標							
実績							
目標							
実績							

事項		担当課評価																																				
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		国定公園の指定を受けたエリアを「福知山千年の森づくり事業」と位置付け、市民と一緒に森づくりを進める為の事業であるとともに、ふるさと納税制度に則った事業であるため、市が直接実施すべき事業である。																																				
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		国定公園を生かし、市民に対して自然環境保全、地域振興などにつなげることで、小学生などの次世代への環境教育、市民の財産である自然を保全管理していく、福知山 千年の森づくり事業に充てる資金造成を担う事業であり、有効性は高い。																																				
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		ふるさと納税制度を活用した事業であり、人件費コストに比べて大きい事業成果を得られるため、効率性が高い。																																				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																				
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 基本的には、寄附金の申し出があり、成果が上がる時にしか人件費コストが発生しない事業であり極めて有効に機能している。 今後の課題として、趣旨に賛同して継続的に寄附金事業に参加して頂く寄附者を更に募っていくことが、事業継続のために必要である。			
成果の方向性	拡充		×																																			
	維持		×		○	×																																
	縮小		×		×	×																																
	休廃止		×	×	×																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
コスト投入の方向性																																						

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000126 大呂自然休養村整備事業									
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成24年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	43	観光の振興				担当課	農林管理課			
基本方針	04	都市と農山村の交流を促進する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし									
	構成予算事業			会計		款		項		目
220210	大呂自然休養村整備事業（継続費）			01	一般会計	06	農林業費	01	農業費	02 農業総務費
事業基本情報	実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
	直接実施									
	業務委託又は指定管理		（委託先又は指定管理者：）							
	補助金		（補助先：）							
事務事業の意図 （どのような状態にしたいか）		老朽化した大呂自然休養村の建替え及びグラウンドゴルフ場の増設、進入道路の拡幅整備を行い、集客を図る。								
対象 （誰・何を対象に）		指定管理者である「大呂自然休養村センター運営委員会」、施設利用者								
事業内容 （手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください）		役務費（手数料）（180千円） 業務委託（委託料）（598千円） ・公共嘱託登記 工事請負費 ・大呂グラウンドゴルフ場進入路改良工事(18,224千円)繰越分 ・大呂自然休養村センター造成ほか工事(38,273千円) ・大呂自然休養村センター建築工事(100,800千円)H26年度分								
関連事業 （同一目的事業等）		大呂自然休養村管理事業								

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	工事請負費	千円	20,000	216,075	157,297	0
	委託料	千円	0	12,520	598	24,403
	備品購入費	千円	0	11,999	0	0
	役務費	千円	0	710	180	0
	旅費	千円	0	20	0	0
	需用費	千円	0	4	0	0
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	20,000	241,328	158,075	24,403
B	人件費	千円	2,705	2,705	1,628	766
総事業費(A+B)		千円	22,705	244,033	159,703	25,169
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	20,000	221,100	139,600	24,403
	その他特財	千円	0	0	0	0
地方債・その他特財 コメント						
一般財源	千円	2,705	22,933	20,103	766	

計画事業評価表

計画事業		000126 大呂自然休養村整備事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	事業進捗率	目標	%	100	100	63	13
		実績			95	56	12
		単位コスト			2540.295	2822.768	2033.583
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	成果実績	目標					
実績							
目標							
実績							
目標							
実績							

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		市営の宿泊集客施設であり、上川口地域の活性化を担う役割から市が取り組む必要性は高い。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		昭和50年開設以来、キャンプ場、宿泊棟、テニスコート、グラウンドゴルフ場等を順次整備し、豊かな自然に囲まれた環境の中での研修会・宿泊・グループのレクリエーションなどに利用され、農村と都市住民との交流促進及び地域の活性化に寄与しているが、施設			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		平成27～29年度辺地総合整備計画(財源:辺地債)により、老朽化した管理棟の全面改修を図り、自然休養村センター及び周辺施設(特に、グラウンドゴルフ場)の利用者の増加を図るとともに、農村と都市住民との交流人口の増加による地域の活性化が期待できる。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		D 縮小・廃止(実施期間の終了または休廃止の検討が必要) 施設の老朽化に伴い、宿泊を伴う会議や研修利用者は大きく減少する中で、グラウンドゴルフ場については指定管理者による芝等施設の管理も万全で市内外から多くの利用者があり、予約に応えられない状況にある。 施設の建替整備により、施設利用者の更なる増加が期待できる。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×			×
	縮小	×	○	×	×
	休廃止		×	×	×
	皆減	○	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000127	大呂自然休養村管理事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成18年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	43	観光の振興				担当課	農林管理課			
基本方針	04	都市と農山村の交流を促進する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
220211	大呂自然休養村管理事業		01	一般会計	06	農業費	01	農業費	02	農業総務費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			(委託先又は指定管理者: 大呂自然休養村センター運営委員会)							
補助金			(補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			指定管理により施設の適正な運営により集客を図る。							
対象 (誰・何を対象に)			指定管理者である「大呂自然休養村センター運営委員会」、施設利用者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			施設修繕、法定点検等を実施する。 需用費(78千円) ・施設修繕 役務費(27千円) ・保険料(建物総合損害共済共済基金分担金) 委託料(895千円) ・大呂自然休養村センター指定管理料							
関連事業 (同一目的事業等)			大呂自然休養村整備事業							

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	委託料	千円	8,440	895	870	870
	需用費	千円	50	78	55	271
	役務費	千円	27	27	38	27
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	その他	千円	432	0	0	0
小計	千円	8,949	1,000	963	1,168	
B	人件費	千円	3,491	3,491	287	287
総事業費(A+B)		千円	12,440	4,491	1,250	1,455
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	125	125	122	120
一般財源	千円	12,315	4,366	1,128	1,335	

計画事業評価表

計画事業		000127 大呂自然休養村管理事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	施設開館日数	目標	日	365	365	365	365
		実績				360	359
		単位コスト	円			2.675	3.253
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
単位コスト							
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
施設利用者数 (管理宿泊棟のみ)	目標	人		1,125	1,125	1,125	
	実績				323	349	
施設利用者数 (グラウンドゴルフ場)	目標	人		12,000	12,000	12,000	
	実績				10,911	10,721	
	目標						
	実績						

事項		担当課評価		
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		市営の宿泊集客施設であり、上川口地域の活性化を担う役割から「指定管理施設」として市が取り組む必要性は高い。		
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		昭和50年開設以来、キャンプ場、宿泊棟、テニスコート、グラウンドゴルフ場等を順次整備し、豊かな自然に囲まれた環境の中での研修会・宿泊・グループのレクリエーションなどに利用され、農村と都市住民との交流促進及び地域の活性化に寄与しているが、施設の老朽化に伴い、特に宿泊管理棟の利用率が低い状況である。		
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		平成24～29年度辺地総合整備計画(財源:辺地債)により、老朽化した宿泊管理棟の全面改修を平成27年度で実施した。改修整備により自然休養村センター及び周辺施設(特に、グラウンドゴルフ場)の利用者の増加を図るとともに、農村と都市住民との交流人口の増加による地域の活性化が期待できる。		
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)		
事務事業の方向性の組み合わせ		C 拡充(人員や予算規模の拡充が必要)		
成果の方向性	拡充	×		施設の老朽化に伴い、宿泊を伴う会議や研修利用者は大きく減少する中で、宿泊管理棟の建て替えを完了し、今後駐車場整備やグラウンドゴルフ場の拡張等を計画している。 大呂自然休養村センター施設の改修整備により、宿泊管理棟やグラウンドゴルフ場の利用者の増加が期待でき、大呂地区の中心施設として大呂地域のより一層の活性化を図りつつ、福知山市北部地域全体の活性化の拠点となる施設として位置づけ、市街地と農村地域の交流を促進させる。 宿泊管理棟の建て替えに伴い、維持管理経費が増加したことで、指定管理
	維持	×	×	
	縮小	×	×	
	休廃止		×	
	皆減	縮小	維持	
コスト投入の方向性				

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000128	こぶし荘管理事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成18年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	43	観光の振興				担当課	農林管理課			
基本方針	04	都市と農山村の交流を促進する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
220212	こぶし荘管理事業	01	一般会計	06	農林業費	01	農業費	02	農業総務費	
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
実施方法		直接実施								
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: 北陵総合センター運営理事会)								
実施方法		補助金 (補助先:)								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		こぶし荘、山村基幹集落センター、グラウンド等の修繕を行い、集客を図る。								
対象 (誰・何を対象に)		指定管理者である「北陵総合センター運営理事会」、施設利用者								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		施設修繕、指定管理料等を実施する。 需用費(418千円) ・施設修繕 役務費(13千円) ・保険料(建物総合損害共済共済基金分担金) 委託料(2,227千円) ・福知山市こぶし荘指定管理料								
関連事業 (同一目的事業等)		こぶし荘修繕事業、農村研修集会施設等管理事業								

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	委託料	千円	2,227	2,227	2,117	2,317
		需用費	千円	0	418	455	263
		役務費	千円	14	13	12	12
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	2,241	2,658	2,584	2,592	
	B	人件費	千円	873	873	1,149	287
	総事業費(A+B)	千円	3,114	3,531	3,733	2,879	
財源内訳		国支出金	千円	0	0	0	0
		府支出金	千円	0	0	0	0
		国・府支出金コメント					
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	3,114	3,531	3,733	2,879	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000128	こぶし荘管理事業					
事業実績と成果	活動実績	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		施設開館日数	目標	日	365	365	365	365
			実績				360	359
			単位コスト		円			7.178
			目標					
			実績					
	単位コスト							
	成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		施設利用者数 (こぶし荘のみ)	目標	人	8200	8,200	8,200	8,200
			実績				5,820	6,283
			単位コスト					
			目標					
実績								
単位コスト								

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		本施設は、地域公民館の活動の拠点施設である「北陵基幹集落センター」に隣接しており、本施設他の集客施設と併せてコミュニティセンターを構成していることから市が取り組む必要性は高い。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		本地域が積極的に取り組んでいる色々な地域再生、活性化事業の拠点施設としての役割を果たしているが利用者数については目標を達成していない。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		本施設に併設する施設や地域公民館の一体的な運営に向けて、一層のコスト削減を図る必要がある。 なお、建設後30年を経過した施設の老朽化に伴い有効な財源を確保していく必要があり、平成24～26年度辺地総合整備計画(財源:辺地債)を活用した改修・修			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 施設の改修・修繕を適期に実施し、利用者の利便向上を図ることにより集客増加を見込む。特にスポーツ施設を保有している優位性をPRし、スポーツ振興、社会体育活動の充実に図っていく。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性					

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000129	こぶし荘修繕事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成24年度			担当部名	農林商工部		
基本理念	43	観光の振興				担当課	農林管理課		
基本方針	04	都市と農山村の交流を促進する				新規継続区分	継続事業		
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業		
施策						自由区分3	棚卸し未実施		
根拠法令	なし								
構成予算事業			会計		款		項		目
220245	こぶし荘修繕事業	01	一般会計	06	農林業費	01	農業費	02	農業総務費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法		直接実施							
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
実施方法		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		老朽化した施設の修繕、改修を行い、集客を図る。							
対象 (誰・何を対象に)		指定管理者である「北陵総合センター運営理事会」、施設利用者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		工事請負費(11,156千円)		山村基幹集落センター屋根他改修工事		9,580千円			
事業内容		こぶし荘夜間照明灯改修工事				1,577千円			
関連事業 (同一目的事業等)		こぶし荘管理事業							

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	備品購入費	千円	0	1,901	0	0
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	A 災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	11,157	16,098
小計	千円	0	1,901	11,157	16,098	
B 人件費	千円	873	873	479	479	
総事業費(A+B)	千円	873	2,774	11,636	16,577	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	11,100	16,098
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0
一般財源	千円	873	2,774	536	479	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000129 こぶし荘修繕事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	事業進捗率	目標	%		13	100	42
		実績				100	58
		単位コスト					
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
単位コスト							
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	施設利用者数 (こぶし荘のみ)	目標	人	8,200	8,200	8,200	
		実績			5,820	6,283	
	目標						
	実績						
	目標						
実績							

事項		担当課評価																																				
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		本施設は、地域公民館の活動の拠点施設である「北陵基幹集落センター」に隣接しており、本施設他の集客施設と併せてコミュニティセンターを構成していることから市が取り組む必要性は高い。																																				
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		本地域が積極的に取り組んでいる色々な地域再生、活性化事業の拠点施設としての役割を果たしており、改修することで利用者数の増加が見込まれ、有効性が高い。																																				
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		建設後30年を経過した施設の老朽化に伴い有効な財源を確保していく必要があり、平成24～26年度辺地総合整備計画(財源：辺地債)を活用した改修・修繕を実施している。																																				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																				
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 施設の老朽化に対し、適正な施設管理をしていく必要があり、辺地総合整備計画(財源：辺地債)を活用した改修・修繕を行う。			
成果の方向性	拡充		×																																			
	維持		×		○	×																																
	縮小		×		×	×																																
	休廃止		×	×	×																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
コスト投入の方向性																																						

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	001004 美しい農村再生支援事業										
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成27年度			担当部名	農林商工部				
基本理念	43	観光の振興				担当課	農林管理課				
基本方針	04	都市と農山村の交流を促進する				新規継続区分	新規事業				
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業				
施策						自由区分3	H28棚卸し(非公開)				
根拠法令											
	構成予算事業			会計		款		項		目	
220196	美しい農村再生支援事業			01	一般会計	06	農林業費	01	農業費	05 農地費	
事業基本情報	実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
	直接実施										
	業務委託又は指定管理		(委託先又は指定管理者 :)								
	補助金		(補助先 :)								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		大江町毛原地域に残る美しい棚田を、次世代に継承し、伝統ある農村資源やそれを保全・管理する集落機能を今後も維持していくために、地域外を含めた集落の担い手の確保を進める。									
対象 (誰・何を対象に)		毛原地域住民									
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		地域住民が参加し、将来のビジョンづくりや農産物のブランド化・販路拡大、新規移住に向けた活動を進める。 報償費(22千円) ・謝礼 旅費(98千円) ・会議等 需用費(1,120千円) ・消耗品費 777千円 印刷製本費 343千円 役務費(4千円) ・手数料 委託料(7,810千円) ・計画策定 5,628千円 その他業務委託 2,182千円 使用料及び賃借料(22千円)									
関連事業 (同一目的事業等)											

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	委託料	千円	12,195	7,810	0	0
		需用費	千円	7,904	1,120	0	0
		旅費	千円	56	98	0	0
		報償費	千円	80	22	0	0
		使用料及び賃借料	千円	29	22	0	0
		役務費	千円	0	4	0	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	20,264	9,076	0	0	
	B	人件費	千円	2,618	2,618	0	0
	総事業費(A+B)	千円	22,882	11,694	0	0	
財源内訳	国支出金	千円	20,000	8,960	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	2,882	2,734	0	0	

計画事業評価表

計画事業		001004 美しい農村再生支援事業				
活動実績	活動指標名 特産品商品化	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
		目標	1	0		
		実績		0		
		単位コスト				
	地域ブランド 販路拡大	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
		目標	1	0		
		実績		0		
		単位コスト				
		目標				
	実績					
	単位コスト					
成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	移住者数(累計)	目標				
		実績		5	3	3
		目標				
		実績				
		目標				
	実績					

事項	担当課評価																																	
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	毛原地域に残る美しい棚田を次世代に継承し、伝統ある農村資源を保全・管理機能を維持していくためにも、市と住民が一体となって実施するため、必要な事業である。																																	
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	地域住民が参加し、将来のビジョンづくりや農産物のブランド化、販路拡大、新規移住に向けた活動を実施するため、次世代への継承につながる有効な事業である。																																	
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	住民が中心となって棚田を活かした地域ブランドの立ち上げ、販路開拓を行なうため、効率性は高い。また、事務的経費以外は100%国庫補助であるため、有利な財源確保をしており、効率性は高い。																																	
コストと成果の方向性	事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																	
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×		皆減	縮小	維持	拡大		コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 平成27～28年度の2カ年の事業であり、平成28年度中に新規移住者による集落の担い手の確保、棚田散策による観光客が地域の特産物を購入できる体制づくりを構築する必要がある。
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×		○	×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
	皆減	縮小	維持	拡大																														
コスト投入の方向性																																		

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業		000137	共に育む「命の里」事業(畑地域)								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成24年度	担当部名	農林商工部						
基本理念	61	土地利用および市街地・集落整備			担当課	農林管理課					
基本方針	04	集落環境を保全・整備する			新規継続区分	継続事業					
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業					
施策					自由区分3	棚卸し未実施					
根拠法令	なし										
構成予算事業			会計	款	項	目					
220195	共に育む「命の里」事業(畑地域)		01	一般会計	06	農林業費	01	農業費	05	農地費	
実施方法	国庫補助事業 府補助事業 市単独事業										
	直接実施										
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)										
	補助金 (補助先: 畑七つの里づくり協議会)										
事務事業の意図	(どのような状態にしたいか) 過疎高齢化が進展している夜久野町畑地域において、集落連携組織が策定した「里力再生計画」に基づく集落再生活動を支援することにより、地域住民が主体となる地域活性化を図る。										
対象	(誰・何を対象に) 畑七つの里づくり協議会										
事業内容	(手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください) 負担金補助及び交付金(2,997千円) ・共に育む「命の里」事業 生活環境等基盤整備事業補助金										
関連事業	(同一目的事業等) ふくちの農山村応援事業										
コスト	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度						
	負担金補助及び交付金	千円	4,000	2,997	4,744	7,546					
	報酬	千円	0	0	0	0					
	給料	千円	0	0	0	0					
	職員手当等	千円	0	0	0	0					
	共済費	千円	0	0	0	0					
	災害補償費	千円	0	0	0	0					
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0					
	賃金	千円	0	0	0	0					
	報償費	千円	0	0	0	0					
	その他	千円	0	0	0	0					
	小計	千円	4,000	2,997	4,744	7,546					
	B 人件費	千円	2,182	2,182	3,352	3,352					
総事業費(A+B)	千円	6,182	5,179	8,096	10,898						
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0					
	府支出金	千円	3,300	2,317	3,994	6,796					
	国・府支出金コメント										
	地方債	千円	0	0	0	0					
	その他特財	千円	0	0	0	0					
地方債・その他特財コメント											
一般財源	千円	2,882	2,862	4,102	4,102						

計画事業評価表

計画事業		000137 共に育む「命の里」事業(畑地域)					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	集落連携組織の会議数	目標	回		24	24	24
		実績				40	47
		単位コスト	円			118.600	160.553
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	%		100	100	100
		実績				100	100
		単位コスト	円		4,000	7,500	11,492
再生計画に基づく当該年度事業進捗率(事業)	目標	%		100	100	100	
	実績				100	100	
	単位コスト	円		4,000	7,500	11,492	
当該年度計画事業費(上段)と実績事業費(下)	目標	円		4,000	7,500	11,492	
	実績				6,706	10,898	
	単位コスト	円		4,000	7,500	11,492	

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		本市では過疎高齢化が進行し、特に農山村地域では、農林業の衰退、地域担い手不足、伝統文化の継承、集落の維持など住民の生活にも大きな影響も出ていることから、地域が連携して将来に向けた集落づくりを進めるものであり、市が取り組む必要性は非常に高い			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		過疎高齢化が進行した集落を含む旧村単位の集落が連携組織を設置して事業を実施するが、連携集落が希望する組みを支援するものであり、有効な事務事業である。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		京都府の関与もあり、地元主導で事業が進むよう職員との関与を軽減する方向で取り組んでいることと、府の補助を財源に充てるなど、効率性は高い。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 京都府補助事業として平成24年度から3か年事業として平成26年度まで実施したが、地元の熱意により、平成27年度から2年間事業延長した。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性					

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000140	ふくちの農山村応援事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成23年度	担当部名	農林商工部				
基本理念	61	土地利用および市街地・集落整備			担当課	農林管理課			
基本方針	04	集落環境を保全・整備する			新規継続区分	継続事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし								
構成予算事業		会計		款		項		目	
210167	ふくちの農山村応援事業	01	一般会計	06	農林業費	01	農業費	05	農地費
210192	農山村集落活動支援事業	01	一般会計	05	労働費	01	労働諸費	02	緊急雇用特別対策費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法		直接実施							
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
実施方法		補助金 (補助先: 対象集落)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		農山村地域の人口減少及び少子高齢化の進行に伴う農林業の衰退、集落機能の低下などに対応するため、集落の将来像を見据えた集落の維持・再生・活性化を図る。							
対象 (誰・何を対象に)		該当地域の集落会議							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		報酬(1,041千円) ・集落支援員報酬 報償費(40千円) ・福知山市農山村活性化意見交換会謝礼 旅費(53千円) ・会議等 需用費(42千円) ・消耗品費 使用料及び賃借料(47千円) ・複写機使用料 負担金(20千円) ・全国水源の里連絡協議会負担金							
関連事業 (同一目的事業等)		共に育む「命の里」事業(畑地域)							

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	負担金補助及び交付金	千円	1,020	2,092	2,090	2,612
		報酬	千円	1,358	1,041	958	0
		旅費	千円	28	53	7	0
		使用料及び賃借料	千円	47	47	0	0
		需用費	千円	71	42	0	15
		報償費	千円	50	40	0	733
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	3,997
	小計	千円	2,574	3,315	3,055	7,357	
	B	人件費	千円	873	873	2,011	4,980
	総事業費(A+B)	千円	3,447	4,188	5,066	12,337	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	3,299	
	府支出金	千円	500	1,035	695	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	2,947	3,153	4,371	9,038	

計画事業評価表

計画事業		000140	ふくちの農山村応援事業					
事業実績と成果	活動指標名	市職員等を派遣した集落会議開催数	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		目標	回			3	3	
		実績				0	0	
		単位コスト	円					
	活動実績	臨時職員の雇用数	目標	人			1	1
			実績				1	1
			単位コスト				3055.000	7357.000
		目標						
		実績						
		単位コスト						
成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度		
	自主取組みの活動集落数	目標		25	25	28		
		実績	地区			21	25	
		目標						
		実績						
		目標						
	実績							

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		本市では過疎高齢化が進行し、特に農山村地域では、農林業の衰退、地域担い手不足、伝統文化の継承、集落の維持など住民の生活にも大きな影響が出ていることから、市が取り組む必要性は非常に高い。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		対象集落を国勢調査による高齢化率、人口規模などの客観的指標を基に選定し、集落が希望する組みを支援するもので、集落が求める事柄に対して取り組みやすい有効な事務事業である。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		事務処理を簡素化し、職員の関与を軽減する方向で取り組んでいることと、交付金を財源に充てるなど、効率性は高い。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 平成22年度国勢調査結果では、65歳以上50%以上の集落が平成17年度国勢調査より約4割程度増えており、今後、対象集落が広がる情勢である。 現在、事業に取り組めない集落もあり、これらの集落への対応については集落支援員を配置し、新たに事業対象となる集落においても事業説明するなどして、事業展開する予定である。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
縮小	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000142	農山村空き家バンク事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成20年度	担当部名	農林商工部					
基本理念	61	土地利用および市街地・集落整備			担当課	農林管理課				
基本方針	04	集落環境を保全・整備する			新規継続区分	継続事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計	款	項	目				
220153	農山村空き家バンク事業		01	一般会計	06	農林業費	01	農業費	05	農地費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法			直接実施							
実施方法			業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
実施方法			補助金 (補助先: 補助対象空き家の所有者等)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			本市農山村地域の空き家や住宅の建築が可能な空き地の情報を空き家バンクに登録し、利用希望者へ情報提供するとともに情報を全国に発信する。							
対象 (誰・何を対象に)			空き家バンク制度利用者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			旅費(74千円) ・協議会等 需用費(84千円) ・消耗品費(68千円) 印刷製本費(16千円) 役務費(111千円) ・空き家情報提供に要した通信運搬費 使用料及び賃借料(50千円) ・複写機使用料 負担金補助及び負担金(1,000千円) ・改修補助金(1件)							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	負担金補助及び交付金	千円	5,300	1,000	0	1,530
		役務費	千円	0	111	111	48
		需用費	千円	0	84	51	105
		旅費	千円	0	74	0	0
		使用料及び賃借料	千円	0	50	0	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	35
	小計	千円	5,300	1,319	162	1,718	
	B	人件費	千円	1,309	1,309	2,968	3,830
	総事業費(A+B)	千円	6,609	2,628	3,130	5,548	
財源内訳	国支出金	千円	2,650	0	0	765	
	府支出金	千円	0	500	0	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	2,650	0	0	0	
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	1,309	2,128	3,130	4,783	

計画事業評価表

計画事業		000142 農山村空き家バンク事業						
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	活動実績	空き家バンク利用希望登録者数(年度別)	目標	人	20	20	20	20
			実績				8	51
			単位コスト		円			20.250
	活動実績	空き家登録数(年度別)	目標		20	20	20	20
			実績				4	16
			単位コスト				40.500	107.375
	成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
								空き家バンクによる移住者数(年度別契約)
		空き家バンクによる移住者数(累計契約時)	人	25	25	20	15	
目標								
実績				61	51			
目標								
実績								

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		農山村の活性化の為に、地域に住む人が増える必要があり、本事務事業は人口増加につながる即効性の高い定住施策として、市が関与する必要性は高い。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		既存の空き家情報を希望者に提供する事務であり、双方の意向が合えば成約に至り、農山村集落活性化への波及効果は高い。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		物件調査、立会及び情報発信などの事務が伴うが、事業は財政支出が少ない中で事務を執行しており、効率性は高い。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
	皆減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性		平成21年度から事業に取り組み、バンク登録者も徐々に増加し、成約につながるなど、成果の拡大方向が見え始めている。 課題としては利用希望者に十分な情報提供を行い、成約に結びつけるため、空き家登録数を増やして行くことである。また、登録物件は改修の必要がある物件が多く、改修費などがネックになる場合も往々にしてあり、具体的な対応を打つ必要があり、平成25年度から設けた改修費補助制度によって成約につながったものもある。 物件成約には、立会調整など人的関与が必要であるが、直接的な定住促進効果があることから、更に中丹地域での広域連携や京都府の補助施策を有効に活用していくことや、不動産業界との連携強化を図り、効率的に進めることも課題である。 なお、この事業については、平成28年度から移住・企業立地推進課に事業が移行された。			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000946	ふくちの村来人定住活動支援事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成26年度			担当部名	農林商工部		
基本理念	61	土地利用および市街地・集落整備				担当課	農林管理課		
基本方針	04	集落環境を保全・整備する				新規継続区分	新規事業		
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業		
施策						自由区分3	棚卸し未実施		
根拠法令									
構成予算事業			会計		款		項		目
220134	ふくちの村来人定住活動支援事業	01	一般会計	06	農林業費	01	農業費	05	農地費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法		直接実施							
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
実施方法		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		魅力ある環境と利用可能な空き家等を有する農山村集落等が、自ら地域の維持・活性化を図ることを目的に「移住促進計画」を樹立して行う、空き家を活用した、都市住民等の移住者受け入れ活動や、移住者とともに行う地域おこし活動に関し、補助金の支出並びに「地域おこし協力隊制度」活用による支援を実施する。							
対象 (誰・何を対象に)		協力隊希望地域、地域おこし協力隊員							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		賃金(4,251千円) ・地域おこし協力隊員賃金 旅費(普通旅費)(213千円) ・研修会、協議打ち合わせ等 需用費(314千円) ・消耗品費 16千円 燃料費 206千円 食糧費 11千円 修繕料 81千円 役務費(23千円) ・保険料 23千円 使用料及び賃借料(1,199千円) ・電子計算機使用料 110千円 建物借上料 630千円 自動車借上料 459千円 備品購入費(36千円) ・施設備品 36千円							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	賃金	千円	0	4,251	511	0
		使用料及び賃借料	千円	1,446	1,199	9	0
		需用費	千円	772	314	47	0
		旅費	千円	56	212	11	0
		備品購入費	千円	0	36	0	0
		負担金補助及び交付金	千円	40	35	2,528	0
		役務費	千円	82	23	89	0
		報酬	千円	4,800	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	15	0	0	0
	小計	千円	7,211	6,070	3,195	0	
	B	人件費	千円	2,182	2,182	3,830	0
	総事業費(A+B)	千円	9,393	8,252	7,025	0	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	1,263	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	9,393	8,252	5,762	0	

計画事業評価表

計画事業		000946 ふくちの村来人定住活動支援事業						
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	地域おこし協力隊員配置数	目標	地域		0		2	
		実績				2		
		単位コスト					1597.500	
	活動実績	目標						
		実績						
		単位コスト						
	成果実績	目標						
		実績						
		単位コスト						
		目標						
		実績						
単位コスト								
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度		
成果実績	目標							
	実績							
	目標							
	実績							
	目標							
	実績							

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		農山村地域では、人口減少・高齢化、空き家増加が進行し、共同作業の困難化、農林業の衰退、生活環境の悪化など、集落機能の低下が重要課題となっており、地域おこし協力隊員を配置することにより、地域活動の活性化を図る。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		定住者として地域に入り、農林業等の就業につなげる。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		地域おこし協力隊員は、任期後もそのまま地域に定住することを目標としており、農山村地域の人口増加につながる。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 農山村地域の高齢化・人口減少の緩和につながり、また、空き家の解消・集落住環境が改善される。 地域おこし活動の活性化が図れ、環境保全・地域振興につながる。 なお、この事業については、平成28年度から移住・企業立地推進課に移行された。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000151	農地・農業用施設災害復旧事業			
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	農林商工部
基本理念	65	消防・救急・防災対策の強化		担当課	農林管理課
基本方針	03	治山・治水対策を強化する		新規継続区分	継続事業
施策の大綱				実施計画区分	実施計画事業
施策				自由区分3	棚卸し未実施
根拠法令	なし				
構成予算事業		会計		款	
210179	農地・農業用施設災害復旧事業	01	一般会計	11	災害復旧費
					01 農林施設等災害復旧費
					01 農林施設等災害復旧費
事業基本情報	実施方法	国庫補助事業 府補助事業 市単独事業			
		直接実施			
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)			
		補助金 (補助先:)			
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	被災箇所の早期復旧を行うとともに、農地、施設の機能回復と維持管理経費の節減を図り、併せて遊休荒廃農地化を未然に防止する。				
対象 (誰・何を対象に)	対象施設管理者				
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	平成25年度、26年度に発生した農地・農業用施設災害の復旧を実施した。 ・賃金 1,520千円 ・旅費 78千円 ・需用費 1,210千円 ・役務費 524千円 ・使用料 1,016千円 ・工事請負費 448,506千円 ・補助金 35,431千円				
関連事業 (同一目的事業等)					

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	工事請負費	千円	135,000	448,506	241,449	0
	負担金補助及び交付金	千円	5,000	35,431	49,103	3,323
	賃金	千円	0	1,520	1,630	0
	需用費	千円	0	1,210	1,918	2,013
	使用料及び賃借料	千円	0	1,016	2,392	0
	役務費	千円	0	523	144	4,460
	旅費	千円	0	78	0	0
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	150,894	111,973
	小計	千円	140,000	488,284	447,530	121,769
B	人件費	千円	26,536	26,356	30,930	26,812
	総事業費(A+B)	千円	166,536	514,640	478,460	148,581
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	14,343
	府支出金	千円	132,300	49,260	17,978	0
	国・府支出金コメント					
	地方債	千円	1,000	1,334	25,500	13,900
	その他特財	千円	1,350	758	0	1,123
	地方債・その他特財コメント					
	一般財源	千円	31,886	463,288	434,982	119,215

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000151 農地・農業用施設災害復旧事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	復旧箇所数	目標	箇所			2	
		実績					
	目標						
		実績					
	目標						
		実績					

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		災害による被害を受けた農地・農号用施設の復旧要望は大変多く、今後も実施していく必要がある。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		どの地域も過疎高齢化にさらされ、遊休農地を増やさないためにも今後も実施していく必要があり有効性は高い。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		国庫補助の有利な財源確保をしており、効率性は高い。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 被災を受けた農地・農業用施設については、早急に復旧し、営農や維持管理が持続可能な状態にする必要があり、これからも地元要望に基づき実施する必要がある。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性					